

2. 指標設定

成果指標	指標名	農政企画業務の円滑な推進		目標年度	H27				指標の設定理由				
	数値								農政企画業務の円滑な推進を図る必要があるため				
活動指標	指標	a	農業振興計画策定		b			c			d		
	数値	目標			目標			目標			目標		

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
農政企画業務の円滑な推進		-	-	-

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 農業振興計画策定				
b				
c				
d				

4. 課題と対応

課題
第2次農業振興計画に沿った農業振興の推進
対応（改善点等）
第2次農業振興計画に沿った農業振興の取組の実施

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

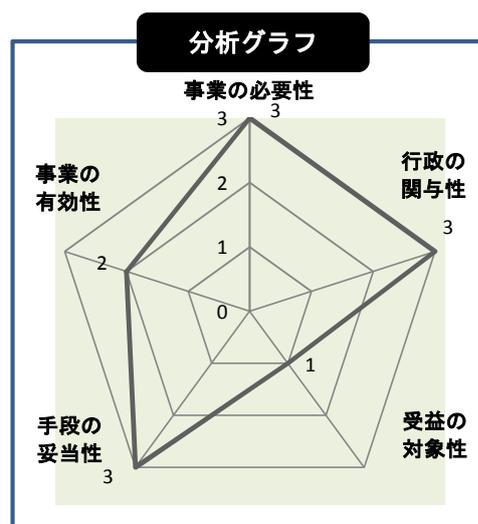
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		112,831	53,830	70,387	67,763
うち経常経費		46,616	47,657	51,571	58,574
財源内訳	国費	45,900			
	県費	231			
	市債		2,600		
	その他				189
	一般財源	66,700	51,230	70,387	67,574
うち経常		46,385	47,657	51,571	58,574
事業費に係る人件費		14,933	19,096	14,534	13,740

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
継続した事業経費が必要のため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 戦略的な農業振興等を図るため、事業は必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 過疎化・高齢化等の担い手不足問題を抱える本市農業の振興を促進するために必要である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 農業者及び農業団体に偏っている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 戦略的な農業振興等を図る上で、適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 計画に基づく施策等を展開中であり、成果評価は24年度決算以降となる



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
見直し	公社、各種団体への補助金のあり方を精査し、見直すこと。